

令和4年度第1回上伊那医療圏 地域医療構想調整会議	資料5
令和4年9月21日	

前澤病院 無床クリニックへの転換について

医療法人公仁会 前澤病院
院長 前澤 毅

1.目的

【現状担っている医療の内容】

大正12年に前澤医院として開業、昭和34年医療法人化に併せて50床のベッドを持つ病院となり、その後46床に改変し急性期地域一般病院として現在に至っております。現在の診療科目は、外科・胃腸外科・乳腺外科等で、合計11診療科で医療を提供しております。入院・外来診療のほか、健康診断、予防接種、地域企業数社の産業医として、「健康管理」「過重労働管理」「メンタルヘルス対策」「面接・指導」を通じて、公衆衛生業務を担っております。

【無床診療所への移行理由】

- ・病棟は平成9年建築し築24年が経過している現況であるが、今後を見据えると現状では施設基準への対応が難しくなること。
- ・今後の地域の医療需要予測を踏まえ、療養型病院などへの移行は断念したこと。
- ・外科手術の標準的治療の進歩や、その結果への期待に対する当方での対応の限界を踏まえ無床化を選択したこと。

【変更後に担う医療の内容】

従来の外来診療とともに検診、日帰り手術、訪問診療を基本的な柱とし、かかりつけ医として往診にも力を注いでいきます。また検診・健診事業、予防接種などの地域保健活動ならびに地域企業数社の産業医としての業務を継続します。

上伊那医療圏においては、圏内の急性期病床数が医療圏地域医療構想における2025年の病床必要量の参考値より上回っている状況にあり、今回の急性期病床の削減は地域医療構想に沿った計画であると考えております。

2.病床増減

現行	変更後
46床（急性期地域一般3）	0床

3.時期

令和4年11月1日

4.病床機能再編支援事業の活用

今般の病床計画は、国が地域医療構想の実現に向けた財政支援策として措置した病床機能再編支援事業を活用する予定であり、申請金額は以下を予定しております。

【申請予定額】 92,568（千円）